



つどえ連盟発祥の地ぐんまに！ 誓い合おう 更なる飛翔を！

第63回全国ろうあ者大会 in ぐんま

平成27年6月10日(水)～14日(日) 群馬県前橋市 ヤマダグリーンホール前橋・群馬会館・群馬県庁 他

主催：一般財団法人全日本ろうあ連盟 主管：一般社団法人群馬県聴覚障害者連盟
 第63回全国ろうあ者大会実行委員会 〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町 13-12 群馬県社会福祉総合センター内
 (一社) 群馬県聴覚障害者連盟気付 FAX 027-255-6870 TEL 027-255-6404 E-mail th63zenkoku-jimu@deaf-gunma.com



No.22
2015年6月

参加者に直撃インタビュー！

S、Nさん ろう者 30代女性 山形県
 全国大会参加1回目

ろう者から健聴者へのコミュニケーションは難しいと思う。インターネットは通用しない場合もある。スマートフォンでスカイプのような通話ができるとうれしい。群馬県は初めて来たが、空気も良くて美しい場所だと思った。

HHさん 健聴者 40代男性 東京都
 全国大会参加5回目

同じ会社の中に聞こえない仲間が何人もいます。でも「電話が出来ない」ことで、人事異動などバリアとなることが多く苦しんでいます。今回の電話リレーサービス・遠隔手話通訳サービスが本人の費用負担がなく、聞こえない人の力が発揮できる場面が増えることも予想できて、早く安く普及して欲しい。聞こえる人も聞こえない人もきちんと環境さえ整えられれば、同じように仕事ができるのだから、サービス事業者をもっと増えてほしい。

研究分科会① 情報アクセス・コミュニケーション



講師 中橋道紀氏

参加者165名

「ここまで来た！コミュニケーション支援システム」と題して「テレビ電話を使った手話サービス」として電話リレーサービスと遠隔手話通訳サービスについて講演がありました。今後は手話通訳の派遣に加え、このサービスが可能になれば必要なときにコミュニケーションサービスが受けられ、私たちの生活は劇的に変わってくる。



講師 小竹安治氏



研究分科会② 手話

ろう！わたしたちの言語「手話」とコミュニケーション



2015/ 6/13



2015/ 6/13



2015/ 6/13

鈴木 誠一さん 30代ろう者男性 静岡県
 昨日、初めて群馬に来ました。前橋の風景はとて
 きれいでした。また、昨夜は月夜野にいる友達の家に
 泊まりました。月夜野は自然が豊かで、川や山々がと
 てもきれいでした。
 私の住んでいる静岡に比べて夜は少し寒かったで
 すが、熟睡できました。分科会に参加して、今まで
 意思疎通支援法のことを考えていなかったの
 で、勉強になった。行政と地域の意思疎通を大事にし
 て、今日学んだ事を地元に戻ったら改めて勉強し
 たいと思います。

参加者に直撃インタビュー！

第一部「手話とコミュニケーション保障」

一手話奉仕員・手話通訳養成の変遷と現状と課題—

手話奉仕員養成から手話通訳養成事業に至るまでの歴史とろう運動についてのトーク。

講演「聴覚障害者に関する国政の現状」

講師 厚生労働省 道鉢自立支援復興室長

平成18年に障害者自立支援法が施行されたが、不評により廃止となる。その後、総合支援法に変わる。その間に、障害者基本法も改正された。総合支援法の中に意思疎通支援事業があり、任意から必須事業になるなどのお話だった。

第二部

「新しい手話検定（全国大会限定）＆創作手話コンテスト（いかぼ杯）」

全員参加で新しい手話検定の試験問題を20問行う。

Sさん 30代健聴者女性 埼玉県

ろうあ者大会は初めて参加、昨年長野に行った先輩が良かったと言っていたので参加しました。観光も合わせ群馬に来ました。特に温泉が楽しみです。

今回、分科会に参加して手話通訳者の身分保障が大切だと思いました。手話通訳者が高齢化になり若い聞こえる人を育てる必要があると思います。制度と聞くと難しく聞こえますが、分かりやすく話をしてくれたので良かった。制度について知る必要があると思います。聞こえる人、聞こえない人と一緒に勉強することが大事だと思いました。

※資料の字が小さくて見えにくかった。